

会議名	<p>匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業 平成 29 年度 第 2 回 飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録</p>	
日 時	平成 29 年 10 月 28 日(土) 14 時 30 分～15 時 30 分	
出席者	<p>■協議会委員</p> <p>井上峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 鈴木弘 匝瑳市シルバー人材センター会長 栗山恭典 千葉興業銀行法人戦略部長代理 代理出席 柴田実 千葉興業銀行八日市場支店長 守正英 匝瑳市介護事業者連絡会長 代理出席 三橋直美 加瀬功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 松本理 前豊栄地区区長会長 伊東健爾 須賀地区区長会長</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸美代 専務理事 鈴木敦子 事務長 株式会社ローカルファースト研究所 関幸子、林雅孝</p> <p>■オブザーバー</p> <p>大木寛幸 匝瑳市 企画課長 林雅之 匝瑳市 企画課まちづくり戦略室長</p>	
議事録	事務局	<p>1 開会</p> <p>開会のあいさつを行った。</p>
	井上会長	<p>議事 1 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業自治体ヒアリングについて</p> <p>事務局から説明する。</p>
	事務局	<p>資料 1 に基づいて説明(要点のみ記載)。</p> <p>東京 23 区の自治体にはヒアリングを行いたい旨を申し出、対応可能か動向調査を行った。多くの自治体は地域包括ケアシステムを行うことで CCRC については視野に入れていないとのこと。</p>

		<p>現在、ヒアリングが可能な区は3カ所で北区、荒川区、杉並区となっている。</p>
A 委員		<p>医療介護等のサービスで、国が地方に対して求めていることを、地方は追いかけていけないのが実態と感じている。</p>
B 委員		<p>ヒアリングの目的はどのような位置づけなのか。最終的な落とし所はどのようなふうに考えているか。</p>
井上会長		<p>最終的には事業提携に持っていきたいが、実際にそれぞれの自治体がどのような感覚でいるのかという情報を知って、次の展開につなげていきたい。</p>
B 委員		<p>匝瑳市の魅力、構想をどのような形で伝えるのか。</p>
匝瑳市		<p>マーケティングでは、匝瑳市を知ってもらうことが大事なポイント。自治体間で協働して活動を深めていきたい。先方の自治体の方向性を確認して、意向があれば繋いでいきたい。はっきりしていなければ、売り込みなどいい方向に持っていきたいと考えている。</p>
井上会長		<p>次回の協議会でヒアリングの結果については報告する。</p>
井上会長		<p>議事 2 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業アンケート調査について 事務局から説明する。</p>
事務局		<p>資料 2 に基づいて説明(要点のみ記載)。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 情報発信の不足 <ul style="list-style-type: none"> ①匝瑳市が知られていない ②移住の情報が届いていない (2) 移住者の不安要素 <ul style="list-style-type: none"> ①生活環境 ②仕事の有無 ③地域住民とのコミュニケーション (3) 移住先での暮らし方

	<p>①趣味やレジャーを楽しみたい</p> <p>②自然を身近に感じたい</p> <p>③家族や友人との時間を楽しみたい</p> <p>④生活環境や働き方を変えたい</p>
C 委員	アンケートの結果、匝瑳市に興味がないという人が多いので、宣伝して知ってもらうことが大事。
D 委員	地元の情報を細かく出したほうが良い。
B 委員	今の暮らしを変えたいという人を狙ったほうがいい。自分の人生を考えた場合に、今まで会社人間であったが、もっと遊びたいとか、健康的にとか、今までとは違う生き方や暮らし方をしたい、そう考えている人たちでないと匝瑳市に来ないと思う。こう変えればあなたの人生輝きますよというような言い方が良いのではないか。
井上会長	まず PR が大事だということで、そのあたりも事業計画に反映させていく。アンケートについては分析を進めてもらい、次回報告を行う。
井上会長	議事 3 匝瑳市版生涯活躍のまち事業計画について事務局から説明する。
事務局	第 1 章、第 2 章については国と匝瑳市の現状を記述する。 第 3 章では事業計画の位置づけを記述する。 第 4 章で具体的事業や機能について記述する。 第 5 章で事業の主体と官民連携について記述する。 第 6 章以降で計画日程、策定経過等を記述する。
E 委員	まちなか居住ゾーンについて、具体的に話が進んでいるが、今の段階では計画策定ということで、本協議会でも詳しく話をするのか。
井上会長	具体的に出てきたら提示したい。
E 委員	協議会は匝瑳市が考える生涯活躍のまち事業について、飯倉駅前

		地区の構想について実現させるためにあるのか。
井上会長		匝瑳市の大きな計画の中の飯倉駅前地区の事業を具体化していく。
事務局		専門部会で「ターゲットをしぼり、ニーズを把握したらどうか」「高齢者の福祉施設は難しいが、お試し居住などに注力してはどうか」という意見があった。アンケート調査にもあったが、仕事がないことの不安が大きいことが分かった。また、生活水準を心配する声があり、レジャーや自然に親しみたいという意見も多かった。これらの意見を飯倉駅前地区だけではなく、ソフトを事業計画に盛り込んでいくことが重要と考えている。
D 委員		整備するエリアは匝瑳市の一部であり、図書館などの施設はエリア外にあって施設を揃えるのは難しい。雇用の話もエリア内だけでは厳しいので、匝瑳市全体を使ってやっていけたらと思う。
井上会長		本事業においては飯倉地区だけで完結する事業ではないので、匝瑳市全域との連携を含めて検討していく。
井上会長	3 その他	資料 4 として議事録を提示している。相違があれば事務局にお伝え下さい。 今回は、11月25日。専門部会が13時から、協議会が14時30分から。これからも引き続き協力お願いします。何かあれば、九十九里ホームの法人本部に連絡下さい。
井上会長	4 閉会	閉会の挨拶を行った。